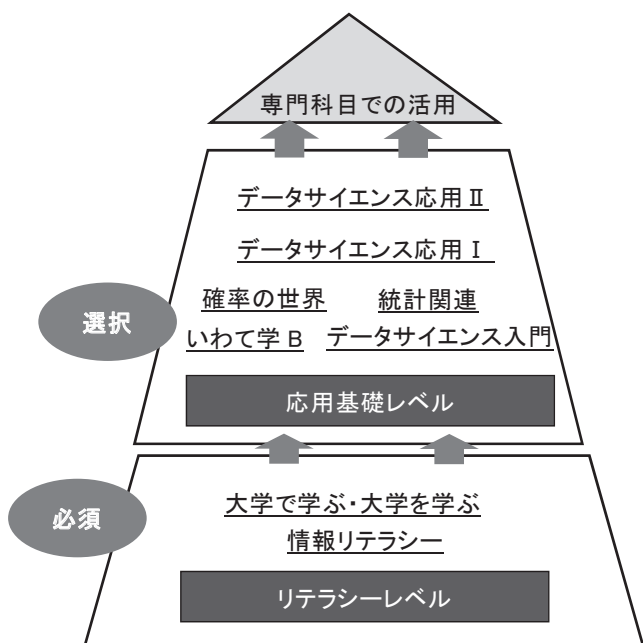


## 4 文理融合データサイエンス教育

数理・データサイエンス・AIは、今後のデジタル社会の基礎知識であり、すべての学部生が身につけておくべき素養ととらえ、本学では「文理融合データサイエンス教育プログラム」によって、大学における学び・研究、将来の仕事・生活に役立つ数理・データサイエンス・AIの知識・技術を体系的に学びます。本プログラムには、すべての学生が身につけるべき基礎的な「リテラシーレベル」と、その上に発展的に学ぶ「応用基礎レベル」があり、それぞれに学修目標・修了要件が定められています。

### 1) プログラムの科目編成と学修目標



**応用基礎レベルの学修目標**

- リテラシーレベルの発展的な内容を理解し、自らの専門分野の課題解決に数理・データサイエンス・AIを応用するための基礎能力を身につける。

**リテラシーレベルの学修目標**

- 数理・データサイエンス・AIが社会でどのように活用されているのか理解し、自らの専門分野の学びに活用することができるための基礎的素養を身につける。

### 2) プログラムの修了要件

科目	修了要件		備考
	リテラシーレベル	応用基礎レベル	
大学で学ぶ・大学を学ぶ	必修 2 単位		1年次の全学共通科目
情報リテラシー	必修 2 単位		
統計関連科目	/	選択 2 単位以上	1～2年次を対象とした各学部の専門科目
確率の世界		選択 2 単位以上	1～4年次の全学共通科目
いわて学 B			
データサイエンス入門			
データサイエンス応用 I		必修 2 単位	2～4年次の全学共通科目
データサイエンス応用 II	必修 2 単位	3～4年次の全学共通科目	

### 3) 履修上の留意点

- 教育プログラムへのエントリーは必要ありません（受講科目ごとの履修登録は必要です）。
- リテラシーレベルを修了した場合（必修 2 科目）、成績証明書にその旨が明記されます。
- 応用基礎レベルを修了した場合、申請によって修了証が発行されます。
- 応用基礎レベルについては、開講科目や修了要件など今後変更することがあります。